

EBPM（エビデンスに基づく政策形成）セミナー開催のご案内

概要

政府統計の不正実施問題が、連日のようにマスメディアにより報道されています。行政機関が作成する統計に対する信頼を揺るがす状況は、政策の立案・実行過程の公正性を脅かすことにもなりかねない衝撃的な事態です。EBPM（エビデンスに基づく政策形成）の重要性が官民で叫ばれている一方で、エビデンス（根拠）となるべき統計が信頼できないものであるならば、EBPM 自体が空洞化してしまふこととなります。なぜこのような事態が発生したのでしょうか。このような事態を打開する上で、官民の直面する課題は何でしょうか。

九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター（CSTIPS）は、統計など科学的な根拠に基づいて政策を立案・実行できる人材養成のために、「科学技術イノベーション政策専修コース」を2013年度に設置しました。このコースは、九州大学の大学院生の他、社会人の科目等履修生を福岡県庁や福岡市役所などから受け入れ、2018年度までの5年間に延べ355人、実数で196人が受講しました。こうした実績に基づき、CSTIPSは福岡県と共催で、県民の皆様を対象にEBPMについて学ぶセミナーを開催いたします。本セミナーでは、経済統計を用いた実証的な経済分析の第一人者である黒田昌裕 慶應義塾大学名誉教授を招へいし、ご講演をいただきます。年度末のご多用の時期とは存じますが、どうぞ奮ってご参加ください。

開催日時：2019年3月22日（金）午後6時～午後7時半

開催場所：九州大学病院キャンパス 総合研究棟 105 セミナー室
(〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1)

内容：開催挨拶

- ・九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター(CSTIPS)
- ・福岡県調査統計課



【講演】「経済統計の信頼回復に向けて」

講演者：慶應義塾大学 黒田 昌裕 名誉教授

本講演では、慶應義塾大学教授、同大学産業研究所所長、内閣府経済社会総合研究所所長、東北公益文科大学学長を歴任し、文部科学省「政策のための科学」基盤的研究・人材育成拠点事業の担い手として尽力されている、わが国経済統計の第一人者である黒田昌裕慶應義塾大学名誉教授を招へいし、統計の信頼性回復に向けて何が必要になるのか、特に統計を整備することの重要性についてご講演をいただきます。

参加費：無料 席数（72席）に限りがありますため、できれば3月20日（水）までに以下の申込先までご連絡ください。先着順とさせていただきます。

【お問い合わせ】

科学技術イノベーション政策教育研究センター
担当：小林俊哉准教授／栗山康孝学術研究員
電話：092-802-6650 FAX：092-802-6654
Mail：event@sti.kyushu-u.ac.jp（事務局）